

緑のセンターだより



No.141

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel：0166-65-5553 Fax：0166-65-5626
旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成 25 年 4 月 1 日



講習会のご案内

（お申込み・受付は前月の 20 日から）

「観葉植物の植替え、鉢替え」-シフレア、ゴムノキなど-

とき 平成 25 年 4 月 14 日（日）1 人 2 鉢まで

午後 1：30～3：30 定員 20 名 **実費**

講師 緑のセンター相談員

「土と肥料の基礎」-ガーデニングの土づくり

とき 平成 25 年 4 月 21 日（日）

午後 1：30～3：30 定員 50 名

講師 緑のセンター相談員



「洋ラン植替え実習」-シンビジウム-1 人 2 鉢まで-

とき 平成 25 年 4 月 28 日（日） **実費**

午後 1：30～3：30 定員 20 名

講師 旭川蘭友会会長 谷口忠一さん

「洋ラン植替え実習」-コチョウランほか-1 人 2 鉢まで-

とき 平成 25 年 4 月 29 日（月） **実費**

午後 1：30～3：30 定員 20 名

講師 旭川蘭友会会長 谷口忠一さん

「ミニ盆栽を作ろう」教材費 ¥1,000

とき 平成 25 年 5 月 19 日（日）

午後 1：30～3：30 定員 20 名

講師 旭川ミニ盆栽会会長 長谷川八郎さん



「神楽岡公園を知ろう」-エゾタンポポを探そう-

とき 平成 25 年 5 月 26 日（日）（親子・一般）

午後 1：30～3：30 定員 30 名

講師 旭川帰化植物研究会代表 塩田惇さん



展示会のご案内

（初日は午後から、最終日は 4 時まで）

「野の花写真展」4 月 6 日～30 日

出展：神田亘雄さん

「洋ラン展」4 月 26 日～29 日

出展：旭川蘭友会

「ミニ盆栽展」5 月 17 日～19 日

出展：旭川ミニ盆栽会

「山草展」5 月 31 日～6 月 2 日

出展：北海道山草趣味の会

「サツキ展」5 月 31 日～6 月 2 日

出展：旭川サツキ会

※継続講座は年に 1 回の募集です

募集
中

※全 6 回受講可能な先着 20 名様
継続講座（年間）のお知らせ
第 1 回目「植物と土」

-培養土の種類と植物の植え替え-
5 月 12 日（日）定員 20 名（講義・実習）
午後 1：30 ～ 3：30

【休館日のご案内】

4 月～10 月は第 2・第 4 月曜日が休館日です。（祝日の場合は翌日）
11 月～ 3 月は毎週月曜日が休館日です。（ " ）



*サツキの育て方相談

5 月 31 日～6 月 2 日

初 日：午後 1 時～

最終日：午後 3 時まで

受講生募集！

「植物を育て・学ぶ」継続講座

回	内 容	開催日	曜	備 考
第 1 回	開講式 植物と土 〈講義と実習〉 (培養土の種類と植物の植え替え)	5 月 12 日	日	無料
第 2 回	植物の殖やし方 〈講義と実習〉 (さし木と取り木)	6 月 16 日	日	無料
第 3 回	神楽岡公園の帰化植物〈講義と実習〉 (オオハンゴンソウ抜き)	7 月 14 日	日	無料
第 4 回	秋植え球根の植え方と花壇作り (神楽岡公園の花壇で植付実習)	9 月 29 日	日	無料
第 5 回	かんたん腐葉土作り〈秋の公園清掃〉 (落ち葉集めと腐葉土作り)	10 月 27 日	日	無料
第 6 回	植物を種から育てよう〈講義と実習〉 (春作業、種まきの方法)	3 月 23 日	日	500円

※目 的・・・講義や実習を通じて自然の仕組みや生命のつながりを理解していただくとともに、自然環境を考えた園芸の手法を学んでいただき、講座で身に付けた知識と技術を活用して、地域の花とまちづくり活動者を育成することを目的としています。

対 象・・・花と緑にかかわる活動に興味をお持ちの方

定 員・・・20名

申込受付・・・平成25年4月20日(土)～

5月10日(金)まで



緑の相談 QアンドA (15)

カネノナルキに花が咲かないのはなぜ。咲かせ方を教えてください。

カネノナルキ(別名カゲツ：花月)は、小鉢なら毎年、大鉢なら2、3年に一度植え替えが必要です。時期は5月上・中旬に水はけのよいもの(赤玉土5：火山礫3：腐葉土2)を使います。生育期の5～7月、戸外の日当たりのよい場所に鉢を出しますが、葉焼けしないよう1週間くらい慣れるまで注意します。

— 育て方のポイント —

- ・ 水は過湿にならないよう用土が乾いたら与えます。
- ・ 生育期の肥料は固形の油粕を置き肥して、液肥は1週間おきに与えます。
- ・ 8月に入ったら肥料を打ち切り、水も控えます。
- ・ 9月に入り気温が下がってきたら、水をさらに控え、月に1、2回程度にします。
- ・ 霜やしばれには弱いですが、低温で管理してできるだけ入室を遅らせます。
- ・ 入室後は10℃以下の低温の場所に置き、水を控えてつぼみが出るまで管理します。
- ・ 花が咲きだしたら10℃以上を保つようにします。



※ホームページ (<http://www.asahikawa-park.or.jp>) に「花と緑の相談コーナー(Q&A)」を掲載しています。こちらでもご利用ください。

春を感じさせる花 “クリスマスローズ”

魅力的な花…

本州では冬から春にかけて咲くクリスマスローズも、半年ものあいだ深い雪にすっぽりと覆われる北海道の庭では、雪解けとともに青々とした葉が顔をだし、このころから花芽も徐々にふくらみ、4月下旬から5月上旬頃にかけて庭の早咲きの球根たちとともに開花します。チオノドクサやアネモネなどの派手さや鮮やかさはありませんが、清楚でシックな色合いの下向きの花がひっそりと咲きます。近年旭川でもバラや宿根草を中心としたイングリッシュガーデン風の庭につくられる家庭が増えており、その庭を構成する主要な宿根草の一つとしてクリスマスローズが多く使われています。使われる魅力は、花の少ない雪解け時期に可憐に咲き、5月下旬までと花期が長いことや花が終わっても葉の緑が庭の背景としてほかの花々を引き立てる効果があることなどです。



ヘレボルス・ニゲル

名前の由来…

クリスマスローズという名は、キンポウゲ科ヘレボルス属の原種の一つで、クリスマスころにバラに似た花が咲く「H・ニゲル」につけられた英名ですが、日本ではこれ以外の原種や交配種も含め、標準和名として「クリスマスローズ」と呼ばれています。また、同じく原種の一つである「H・オリエンタリス」とその交配種につけられた英名はキリスト教の四旬節（レント：イースター前40日間）期間の2月～4月頃に花が咲くことから「レンテンローズ」と呼ばれます。

人気は交配種…

クリスマスローズは、約20種類の原種とその交配種に大別できます。また、葉や花の咲き方などから、茎を長く伸ばして葉をつけ先端に花を咲かせる「有茎種」と、根から葉と花が別々に伸びる「無茎種」、の2つに大きく分類されています。日本では育てやすいこともあり、原種のH・ニゲルとH・オリエンタリス、これらの交配種であるガーデンハイブリッドが人気で多く栽培されています。特にガーデンハイブリッドは交配を繰り返すことにより、さまざまな花形や豊富な花色、葉の美しいものなどの品種が数多く作出され、現在最も多く流通しています。最近是有茎種にも人気が集まり使われるケースが多くなってきています。

栽培に最適…

クリスマスローズの原種の多くは夏の降雨量が少なく湿度も低いヨーロッパの地域に分布しています。暑さに弱く寒さに強い性質のクリスマスローズは、梅雨がなく夏も涼しい北海道が日本では栽培に適した地域といえるでしょう。特に、冬は雪が積もり適度に保温される旭川では庭植えで育てるには最適です。あなたの庭にも丈夫で育てやすいクリスマスローズを植えてみてはいかがでしょうか。初めての方にはガーデンハイブリッドをおすすめします。また、庭がない方はコンテナや鉢での寄せ植えも楽しいでしょう。



◇一口メモ◇ 私たちがクリスマスローズの花びらと思っている部分は、じつは「がく片」で、実際の花びらはすでに退化し、雄しべの周りの蜜腺（ネクタリー）に変化しています。ですから1か月くらいも花期が長く楽しめる花なのです。

早春前線と春のガーデニング

日中の平均気温が5℃以上になると、冬期間休眠していた多くの植物が眠りから完全に覚めて急速に活動を始めます。この平均気温が5℃に達した時点早春前線と呼んで植物の生長活動の目安としています。旭川は平年値で4月13日頃です。早春前線の到達はその年の気象の変化で5～7日ぐらいの幅で遅くなったり早くなったりします。この前線が通過すると早春の花が次から次へと咲き始め、春到来を告げてくれます。さあ、今年のガーデニングのスタートです。

いっぺんに春到来となると気温の変化が大きく、不安定な天候が続きます。冬期間大切に育ててきた植物や無事越冬してきた植物を適正に管理しましょう。

特に気をつけ実施したい作業

・屋外の清掃と植え替え

気温の上昇とともに植物が息吹いてきます。この時期が植え替え、鉢替えの適期です。屋外の融雪と同時に清掃を兼ねて整地、移植などを計画的に進めて下さい。

アルカリ土の改善をしましょう。コンクリートの基礎や塀などで囲まれた庭土は、いつの間にかアルカリ性に偏ってることが多くあります。そのために土が痩せ、土質の変化で有益な微生物が減少して、逆に細菌の繁殖が多くなり庭木などが弱ってきて枯死するのです。そのために毎年良質の腐葉土(ピートモス等)や堆肥を補給してやりましょう。



・鉢物の置き場所

鉢花や観葉植物は冬の弱い光にすっかり慣れてしまいました。窓辺の強い光のあたる所や冷たい風の吹くところはさけて、葉焼けやむれに気をつけましょう。

2から3年植え替えをしていない観葉植物は、冬の間、鉢に溜まった老廃物で生育が衰えてきます。この不純な土を取り除き、新しい用土で植え替えしましょう。

展示室の植物（48）



レクルウアタ(和名トックリラン、英名ポニーテール)

リュウゼツラン科 ベアウカレネア属

メキシコや北アメリカの砂漠に自生し、半耐寒性の小高木です。幹の基部が大きく膨れて「徳利(とっくり)」のようになることからトックリランの和名がつけましたが、英名は幹の先端から多数の葉が出て「ポニーのしっぽ」のように見えることからこのような名で流通しています。通称ノリナとも呼ばれています。インテリアグリーンとしても人気の観葉植物です。

当センターには現在トックリ状の幹が直径70cmほどに育ったものがあります。ぜひご覧ください。